

新たに浸水時の緊急避難協力施設と 協定を締結！

1月19日(火)市役所において、志津まちづくり協議会と草津市、避難協力施設、関係町内会が「浸水時における緊急時避難協力施設としての一時使用に関する協定書」を締結しました。

この協定は、集中豪雨や台風など短時間で集中的に降る雨により、急な浸水被害が発生した時に、近隣住民や通行者の命を守るために一時的に退避できる場所を確保するものです。



調印式の様子



橋川草津市長による挨拶（右から4人目）

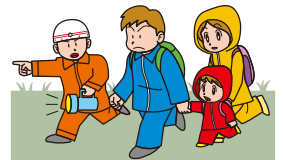


調印式後の様子

当協議会では、平成26年10月31日に協定書を締結した帝産湖南交通(株)に続くもので、今回は、(株)平和堂フレンドマート志津東草津店、無量壽寺、西方寺の3施設の協力を得ることができ実現しました。また関係町内会は、それぞれの施設が存在する青地第一、青地第二、追分の3町内会です。

志津学区においては、今回の協定で4施設となりましたが、今後も引き続き各町内会・自治会との協働による推進が必要であると考えています。

(事務局)



平成28年度「志津まちづくり協議会」事業日程 (予定)

平成28年度の主な事業日程(予定)は、下記のとおりです。地域の皆さまの事業を計画される際には、ご配慮いただきご支援、ご協力をお願いします。

- | | |
|---|----------------------------------|
| ・定期総会 平成28年4月23日(土) | ・志津ふれあい区民運動会 平成28年10月16日(日) |
| ・敬老のつどい 平成28年9月19日(月・祝)
「前後1週間：各町内会・自治会ごとに開催」 | ・志津ふれあい広場 平成28年11月20日(日) |
| | ・志津学区自主防災研修会 平成29年1月21日(土) |

まち(志津)を見直すチャンス!

志津まちづくり計画の見直し

昨年12月19日(土)、3回のワークショップの結果を基に研修会を開催しました。講師に、東近江市中野地区まちづくり協議会副代表の西川実佐子さんを招き、まちづくり計画を見直すにあたって話題提供をお願いしました。



参加した役員27人は、改めて志津の「好きなところ」「気になるところ」を意見交換し、和やかな雰囲気での研修となりました。西川さんからは、結果に基づいた具体的なアドバイスや子ども達に明るい未来を託せるよう、今が「まち」を見直すチャンスであることなど、実体験を活かした内容をご教示いただきました。



現在、当協議会では、まちづくり計画(案)を4月の定期総会で諮る予定で作業を進めています。(事務局)

なくそう! 「自分さえ良ければ」の不法投棄! 身勝手な行動

2月20日(土)午前9時より小雨の中、町内会長委員会では、町内会長をはじめ各町内会から協力者を募り約30人が参加して、草津桐生線沿い(岡本町若宮神社~馬場橋)約1.5kmの清掃活動を行いました。参加者は全員“STOPポイ捨て”ジャンパーを着用し、走行中の乗用車やトラックに向けて啓発しながら、不法投棄されたゴミを拾いながら歩きました。不法投棄は一部の心無い人により、道路脇や河原など人けの少ない場所で行われ、この日収集したゴミはペットボトル、空缶、弁当の残り等軽トラック1台では積み切れない程様々な物が捨てられていました。「きれいなまち」「住みやすいまち」をめざして、不法投棄は「しない」「させない」をモットーに住民全員で取り組まなければならないと思いました。



(町内会長委員会 委員長 中井 守)

いつまでも元気に暮らすために……

介護予防・見守り・生活支援

志津学区医療福祉を考える会議 2月18日

今回第2回目の会議では、前回のグループワークの結果を高徳地域包括支援センターに報告してもらい、そこから見えてきた地域課題の中から平成28年度のテーマを「認知症の問題」にすることに決定しました。

その後、会議に参加する地域、医療、介護、行政の関係者で「認知症について」のグループワークを行いました。熱心な討議で予定の時間を超過しましたが、今後、会議を進めるうえでの課題が少し見えてきました。(事務局)

行方不明者を早く見つけ出すために 自主防災研修会開催

1月23日(土)、志津市民センターにおいて「志津学区自主防災研修会」を開催しました。今年度は「行方不明者の捜索」をテーマに、参加者は学区の組織・団体の役員、町内会・自治会や自主防災会の役員、助言者として市長寿いきがい課・危機管理課、志津交番、南消防署にお願いし58人の参加でした。

前半は、自主防災組織の体制や活動内容を、12町内会・自治会より発表していただきました。事前に各町内会・自治会に「自主防災組織の実態調査」を実施し、更に過去2年間の調査を追加し、合計3年間の推移を一覧表にまとめた資料を参加者に配布しました。それによると、最近できた山寺大空町内会では、早くも今年度、自主防災会が設立され、12町内会・自治会で自主防災会が設立されました。発表後の質疑応答でも活発にやり取りがされました。

後半では、先ず青地第一町内会より行方不明者の捜索事例について、体験を踏まえパワーポイントを使って熱心に発表いただきました。次に、長寿いきがい課より行方不明者の捜索対応と予防対策について、行政の立場から説明いただきました。昨年9月以降、当学区内では行方不明事案が数回発生しており、今更ながら、予防と発生時の素早い対応、連携を再認識する機会となりました。今回、予定時間が超過し、質疑応答にあまり時間を取ることができなかったことを反省しています。

最後に、ご参加、発表、助言いただいた皆さんに感謝しますとともに、防災の重要性を更に高める活動を推進して参ります。



(防犯・防災・交通部長 青木 光)

★理事会を開催しました!

2月13日(土)午後1時30分より理事会を開催。前半は、草津川跡地(区間6)活用検討懇話会の概要について、奥村副会長より報告がありました。後半は、市まちづくり協働課より「(仮称)地域まちづくりセンターの指定管理者制度」についての説明を受け、理事の方々の白熱した協議となりました。



(事務局)

消防団第二分団 “新入団者3人加わる！”

本年も草津市内において、火災のみならず近年のゲリラ豪雨や大型台風等の接近により局地災害が予想されます。今後、第二分団は、益々地域の皆様方と連携して防火・防災活動に努めてまいりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

また、3月には3名の勇退者を輩出しますが、4月には3名の新入団者を迎えます。消防団活動充実のために引き続き募集していますので併せてよろしくお願いいたします。



▲出初式に出席する
自衛消防団の皆さん

(草津市消防団第二分団長 片岡 義博)

～素敵な生き方のヒント～

人権総括研修会

志津人権教育推進協議会は、2月12日（金）「平成27年度総括研修会」を開催しました。

まず、今年度の各町内会・自治会で行われた町内学習懇談会の実績報告を会長が行い、続いてモデル町のロクハタウン自治会が一年間の学習成果を発表されました。その後、講師の村井孝一郎さん（近江八幡市教育委員会生涯学習課）が中学校の教諭で、出席者53人を中学1年生と設定し「こころのビタミン栄養講座」～素敵な生き方のヒント てんこもり～と題して授業をしていただきました。授業には、生徒を飽きさせない様々な工夫がされており、人は自分の勝手な思い込みや噂話で、他人を苦しめ差別・判断、自分自身をも苦しめていることを、小道具や身振り手振りでわかりやすく教えていただき楽しく授業を終えることができました。“気をつけ 礼”ありがとうございました。



(志津人権教育推進協議会 会長 田村 学)

藤樹の里 “安曇川地域の住民福祉活動” に学ぶ

志津社会福祉協議会では、2月5日、福祉先進地視察として安曇川地区ボランティアセンターを訪れました。

安曇川住民福祉協議会は、オープンで出入り自由な住民組織で、個人、団体にかかわらず



「自分のまちを誰もが住みやすいまちにしていこう」という志のもと、多様な分野、立場で活動する人たちが集まり、誕生したネットワーク型の組織です。「安曇川住民福祉ネットワーク」を愛称に、『ささえあい4Sプラン』④災害に強い地域づくり ⑤育ちあいによる輪づくり ⑥ささえあえる人づくり ⑦相談の場づくり、を積極的に進め、『一笑一若』（一回笑うと一つ若くなる）を合言葉に、人と人がつながりあう“よりあい所”を地域の中に多く創り出しておられます。交流する中で、「まず名簿ありきの活動ではなく、あの人心配やなあーからの活動が大事だ」という言葉が印象的でした。午後は、藤樹書院を訪れ、安曇川の福祉の心の根っこを学びました。今回の研修を生かし、今度の志津学区の福祉活動を進めていきたいと思えます。

(志津社会福祉協議会 地域・ボランティア部会 寺尾 信一)

活発な“地域サロン”活動が 学区内に10ヶ所！

2月20日（土）、社会福祉協議会主催の「平成27年度福祉交流会」を、志津市民センターで開催しました。交流会では、“ふれあい支え合い住み続けたいまち”を促進するために実施されている学区内10ヶ所の地域サロン活動を報告していただきました。各サロンでは、様々な工夫や思考を凝らした活動をされており、青地第二町内会「楽楽サークル」の発表では、“ボケない小唄”の紹介や“梅干し体操”を参加者全員で体験しました。後半は、グループに分かれて地域サロンの参加状況や課題について熱心に話し合い、有意義な交流会となりました。



(志津社会福祉協議会 福祉推進部 部会長 上杉 利治)

ジュニアリーダーとして ～学区子ども会の活動～

今年度、ジュニアリーダー養成講座を昨年4月18日(土)に志津市民センターにおいて開講し、2月6日(土)に第3回目の講座を開催しました。ジュニアリーダー養成講座は、4年生～6年生を対象にしたリーダーになるために自分たちで学び、協力し合う仲間づくりを目標としています。

今年度は、プラ板モビールづくり、ロクハ公園でのデイキャンプ、オカリナ&鬼射的づくりを行いました。毎回好評でたくさん子どもたちが参加しています。デイキャンプでは、まき割り、火おこし、飯盒炊飯、カレーを自分たちで作りました。初めは、なたの使い方もかわごわ進めていた子どもたちでしたが、すぐに慣れて自ら進んで火おこしに取り組んでくれました。受講していく中で、人の話をしっかり聴けるようになり、後片付けや掃除も仲間で協力し合って、スムーズにできるまでに成長しました。



全3回の活動の様子を、子どもたちが新聞にまとめ、志津市民センターと志津小学校に掲示しています。お近くにお越しの節には、ぜひお寄りいただきご覧ください。

来年度も募集しますので、興味をお持ちの小学生の皆さんは是非登録してください。

(志津学区子ども会指導者連絡協議会 会長 西堀 美幸)

交通ルールを学ぼう! ～青地第一カンガルークラブの活動～

当クラブは、未就学児対象の交通安全を目的としたサークルです。毎月例会において、道路の歩き方、信号の渡り方などの交通知識を繰り返し学ぶことで、交通事故を未然に防ぐ取り組みをしています。夏には消防署の見学、秋は運動会の交通安全パレード、冬は子どもたちがジュニアポリスに扮し、交通安全を呼びかける街頭啓発も毎年恒例となりました。そういったイベントへの参加は、友達同士、地域の皆さんとのふれあひも大切に行っています。



できるため、成長期の子どもたちにとって、いろんなことを吸収できる実践の場となっています。

交通事故から子どもたちを守るために…親と子どもと一緒に楽しく活動に取り組んでいます。

(青地第一カンガルークラブ 会長 木下 雅美)

～地域を知ろう～ 地域の和菓子づくりに挑戦!

志津わんぱく協働合校では、平成28年2月13日(土)一地域を知ろう“うばがもち”作りを実施しました。小学1年生～6年生の子どもたち43人が参加しました。

“うばがもち”は、みんながよく知っている地域の和菓子です。しかし、食べたことはあるけれど、自分で作るのは初めてという子どもたちがほとんどでした。おもちを丸め、あんをつけていく作業は思っていたより難しいという声も聞かれたり、おもちの原料が馬場町でとれたもち米であることに驚いたりしながら、みんなうれしそうに真剣な表情で作っていました。また、この日は、地域(志津)にある工場などについても学習し、自分たちの住むまちについて新たな気付きや発見となりました。



(志津わんぱく協働合校企画委員会 委員長 宮城 詠子)

志津わんぱく協働合校 ボランティアスタッフ募集!!

わんぱく協働合校では、子どもたちの地域活動をサポートしてくれる学生さん、大人の方々を募集しています。

青少年の健全育成に興味のある方!子どもが好きの方!野外活動やイベント企画が得意な方!将来学校の先生をめざしている大学生!可能な範囲でけっこうです。子どもたちと一緒に活動しませんか!

★問い合わせ先 志津まちづくり協議会事務局

TEL・FAX 562-0047

ふるさとマップが完成!

全戸配布します

平成25年度から27年度までの取り組み事業として、志津ふるさとづくり推進委員会を設立し、「志津の歴史」「自然の美しさ」のマップ作りに取り組みました。地域有識者からの聞き取り、志津に残る記載物などを参考に、そこに残る建物や風景の写真を入れたマップが、この度完成となり、全戸配布に至りました。

このマップで改めて地域を見直していただくとともに、歴史の探索、ウォーキングラリー等に活用していただければと思います。



(「志津ふるさとづくり活動事業」推進委員会 委員長 奥村 金二)